

平成 2 9 年 度 事 業 報 告

自 平成 2 9 年 4 月 1 日

至 平成 3 0 年 3 月 3 1 日

公益財団法人 海 原 会

平成 29 年度 事業報告書

自 平成 29 年 4 月 1 日
至 平成 30 年 3 月 31 日

海原会は、その前身である「予科練の碑保存顕彰会」が昭和 42 年 5 月に発足して以来約半世紀にわたり予科練戦没者の慰霊と顕彰の為の事業を継続して参りました。この間、昭和 54 年にはその活動をより組織的に行うために、高松宮殿下を名誉顧問にお迎えして財団法人海原会を設立し現在に至っております。

しかしながら、会員数も千名を割り込み、会の運営が徐々に難しくなっていることは遺憾ながら否めない現実であります。29 年度はこのような現状に鑑み、会の目的であります予科練戦没者の慰霊と顕彰の為の活動に従事するかたわら、会員の募集にも力を入れて参りましたが、退会者数を補うまでにはその成果が得られておりません。

次年度以降、会勢の増大が喫緊の課題となっております。

若くして自らの命を投げ打って国難に殉じた予科練同窓英霊の思いを継承するという当会の目的を達成するために、平成 29 年度の事業も全員が一丸となって精進してまいりました。

以下その概要を御報告いたします。

I 慰霊顕彰事業

慰霊顕彰事業の最も重視しているものは、陸上自衛隊武器学校の敷地内に造営されている「雄翔園」における「予科練戦没者慰霊祭」であります。平成 29 年度は若葉薫る 5 月に実施いたしました。初夏の香りを感じさせる快晴のもと約 350 名のご遺族・同窓生及びご来賓の皆様が、日本全国からご参列頂き、厳粛かつ和やかな慰霊祭を挙行することができました。

特に、今年度は第 50 回の節目の慰霊祭であり、連動する形で予科練写真展及び予科練慰霊コンサートをご遺族及び阿見町予科練平和記念館並びに陸上自衛隊施設学校音楽隊の御協力をいただき、盛大に挙行することが出来ました。

また、「予科練戦没者慰霊祭」以外に全国各地で行われた慰霊祭にも、海原会役員を出席させる等本会の目的である予科練出身戦没者の慰霊・顕彰を推進しました。その主要なものは以下に記述するとおりであります。

1 慰霊事業

(1) 第 50 回予科練戦没者慰霊祭

節目の第 50 回予科練戦没者慰霊祭であり、参加者の記憶に残る慰霊祭を

計画・実行しました。

ア 予科練慰霊コンサート

平成29年5月20日(土) 阿見町予科練平和記念館 零戦格納庫前特設会場において、慰霊コンサートを実施しました。初夏の風薫る中、約100名の阿見町民の皆様を中心とする聴衆の前で、井上龍明隊長の指揮する陸上自衛隊施設学校音楽隊の皆さんに熱演していただき成功裏に終了いたしました。

イ 予科練写真展

平成29年5月2日(火)～28日(日)の間、阿見町予科練平和記念館 20世紀ホールにおいて、写真家 金子和実 様 (乙飛9期生 池田和義様ご遺族) 監修による予科練写真展を開催いたしました。

期間中、約2千名の見学をいただき成功裏に終了いたしました。

ウ 第50回予科練戦没者慰霊祭

(ア) 前夜祭

慰霊式典の前日 平成29年5月27日(土) 午後6時からホテルマロウド筑波において、前夜祭を開催いたしました。

丹羽雄哉衆議院議員を始め98名の出席者をお迎えして、約2時間に及ぶ前夜祭は和やかな雰囲気です終始しました。

参加したご遺族の皆さんからは、来年度以降も引き続き計画して欲しい旨の希望が多く事務局に寄せられました。

(イ) 慰霊祭

a 日 時 : 平成29年5月28日(日) 午前10時半から12時半

b 場 所 : 陸上自衛隊武器学校内「雄翔園」

c 内 容

(a) 感謝状授与式

海原会の活動に支援を戴いた、陸上自衛隊武器学校殿他10の団体と2名の個人に対して感謝状を授与しました。

(b) 慰霊飛行

日の丸飛行隊所属のセスナ2機による慰霊飛行を実施しました。

(c) 第50回予科練戦没者慰霊式典

- ・ 実行委員長 酒井副理事長の開式の辞に引き続き、国歌吹奏・黙祷・献火・高松宮妃殿下御歌奉詠・式辞・遺稿朗読
- ・ 献花の後、ご来賓代表として葉梨康弘衆議院議員 上月良祐参議院議員のご挨拶に引き続き、ご遺族代表、甲飛13期故海軍少尉 北村十二郎様の甥北村直也様のご挨拶をいただきました。

その後、参加者全員で若鷲の歌を合唱して約350名の出席者

全員で戦没予科練生の慰霊と日本の平和を祈る時間を過ごすことができました。

- ・ 特に、本年度は土浦混声合唱団の皆さんによる鎮魂歌「君らここに甦れ」を奉唱いただきました。
この曲は、高橋俊作氏が作詞し、八洲秀章氏が作曲したもので第10回予科練戦没者慰霊祭において発表されました。
今回慰霊祭での献唱にあたり、指揮者である日本合唱指揮者協会理事の大門康彦様が合唱用に編曲されたものです。
- ・ 慰霊祭には、病気療養中の堺周一（乙飛18期生 91歳）理事長が、ご家族の介添えを受け車椅子で出席しました。
理事長として最後の責任を果たし、満足げな表情で会場を後にした姿に、かつての予科練魂を垣間見た感じがいたしました。

(d) 直 会

慰霊式典に引き続き、約350名のご遺族並びにご来賓の皆様と共に、直会を実施しました。施設学校音楽隊の慰霊演奏の後、日本合唱指揮者協会理事の大門康彦氏による「君らここに甦れ」の独唱など、会員相互に懇親の実をあげて終了しました。

d 慰霊祭開催にあたりご協力を戴いた団体等は以下のとおりです。

陸上自衛隊武器学校（武器教導隊）

陸上自衛隊武器学校OB会

陸上自衛隊施設学校

海上自衛隊下総教育航空集団

海上自衛隊小月教育航空群

阿見町予科練平和記念館

阿見町交通安全母の会

阿見町更正保護女性の会

(ウ) 慰霊祭反省会

5月30日（火）13時から武器学校広報班において、反省会を実施しました。海原会からは、実行委員長の酒井副理事長、平野理事、徳永支部長が出席、支援していただいた武器学校OB会の代表及び広報班の担当者に出席していただき、第51回慰霊祭に向けて貴重な意見を聴取することができました。

(2) 全国各地で举行された慰霊祭等への参加

平成29年4月 3日 予科練雄飛会慰霊祭 於：靖国神社

酒井副理事長、助村事務局長、平野理事が参加

- 8日 陸上自衛隊武器学校観桜会
酒井副理事長、助村事務局長、徳永支部長が参加
- 6月24日 第45回静岡空襲日米合同慰霊祭
於：静岡市内賤機山山頂
菅野副理事長が主催、平野理事が参加
- 7月9日 大東亜戦争全戦没者慰霊祭 於：靖国神社
酒井副理事長、助村事務局長、平野理事が参加
- 9月23日 第66回特攻平和観音年次法要
於：世田谷観音寺内特攻観音堂
平野事務局長が出席
- 10月7日 海上自衛隊下総基地開設58周年式典
於：下総航空基地
酒井副理事長、平野理事が参加
- 10月28日 陸上自衛隊土浦駐屯地開設65周年記念式典
於：土浦駐屯地
酒井副理事長、平野事務局長、徳永支部長参加

2 顕彰事業

(1) 遺書・遺品・実戦記録等の整備事業

ア 海原会ではご遺族に残された遺書・遺品・実戦記録などを収集して、後世に伝えるための事業を着実に推進しています。28年度は、前年度未整理となっていたご遺族から提供いただいた多くの資料を整理保管いたしました。

イ 雄翔館展示の戦没者紹介パネル及び遺品等の展示の見直しを実施しました。今年度は更に展示要領の充実を推進しました。特に、戦没者紹介パネルの展示位置の修正をおこない乱反射による見づらさを解消しました。

また、館内の展示を、4つのカテゴリーに区分して来館者が短時間で予科練戦没者のことを理解できるような展示としました。

ウ 戦没者紹介パネルハードコピーを展示しました。

これまで、館内に備え付けられてモニターでしか閲覧ができなかった戦没者紹介パネルを、パソコン操作が不得手な高齢者にも閲覧が可能なように、ハードコピーで「予科練戦没者の記録」（3分冊）を作成し展示しました。

エ 雄翔館入口周辺のレイアウトの見直しに着手しました。

29年度末までに完成の予定です。

(2) 遺族支援調査

ご遺族も年々亡くなられて、親の代から兄弟・姉妹へと移り、中には孫の代になり、世情も戦争犠牲者への関心が薄れだんだん風化されつつある現状に鑑み、

音信不通のご遺族の所在を調査して会報を送付し、また本会主催の慰霊祭は勿論のこと、各地各期が催す慰霊祭に積極的に参加し、ご遺族の啓蒙と当会への入会の促進を図ってきました。本年度は新たに5名の御遺族を特定することができ4名の方が入会していただきました。

(3) 海上自衛隊への協力

予科練教育制度を継承している海上自衛隊航空学生の皆さんに、戦没予科練生の遺訓を伝承するために以下のような活動を行いました。

ア 航空学生の入隊式に参列

酒井副理事長が、4月2日に行われた第69期航空学生の入隊式に参列しました。

イ 海上自衛隊航空学生の雄翔館研修支援

6月及び7月の計2回にわたり海上自衛隊航空学生約70名の皆さんが行った予科練平和記念館と雄翔館の研修をしました。

(4) 海原会会長及び副会長職の制定

公益財団法人海原会の理事長に、一般出身の菅野寛也氏が就任したことに伴い、海原会に会長及び副会長職（いずれも名誉職）を制定し予科練同窓生をもって充てることが理事会において決議され、初代の会長及び副会長に乙飛19期生 小林和夫氏、甲飛14期生 太宰信明氏がそれぞれ就任しました。今後は公益財団法人たる海原会の運営は理事長が、そして予科練同窓生の会である海原会は会長がそれぞれ会の顔として運営をすることになりました。

II 定期刊行物発行业

機関誌月刊「予科練」は、発刊以来444号を数えております。

その編集にあたっては、全国各会の活動状況の紹介や、予科練同窓の戦争体験談等ご遺族の皆様にご喜ばれるような内容の充実に力を入れてきました。

引き続き投稿を依頼するなど内容の充実に努めていきたいと思っております。

また、同誌に投稿をしていただいた方に記事が掲載された機関誌を贈呈することに

より会員以外の購読者の発掘につなげることができました。

1 編集会議

計画どおり、年間6回の編集会議を海原会事務局会議室で行いました。

2 機関誌の発行

計画どおり、第439号から第444号までの6回の機関紙の発行を行いました。

III 青少年育成支援事業

青少年育成のため、会員から候補団体などの情報を収集して、理事会に図ったう え支援を行うように努めましたが、今年度は特に新しい支援候補団体の推薦はありませんでした。本年度は、例年実施しております雄翔園所在地元の阿見町が主宰する球技大会に助成を行いました。

IV 庶務事項

(1) 理事会開催

月1回の定例理事会を海原会事務局会議室において、計画どおり実施しました。

平成29年4月13日、5月16日、6月8日、7月13日、8月24日、
9月14日、10月19日、11月16日、12月15日、

平成30年1月18日、2月16日、3月16日

(2) 編集会議

機関誌月刊「予科練」の編集会議を海原会事務局会議室において実施しました。

(3) 平成29年度評議員会開催

平成29年6月8日 霞ヶ関ビル東海大学交友会館において、平成28年度事業・平成29年度事業計画及び収支予算書の報告を行うとともに・平成28年度の収支決算報告・会計報告について審議を行い、賛成多数で可決されました。

(4) 会計監査

平成29年4月20日 海原会会議室において、平成29年度の評議員会の開催に先立ち、平成28年度の経費執行状況について監事2名による監査を実施し、平成28年度海原会の事業運営及び経費執行に関して問題のないことを確認しました。